昭和26年 3月15日（木曜日）第243號　磐城毎日新聞　（昭和二十五年十二月第621 國鐵特別承認新聞紙 六號 日）第三種郵便物認可（一）

磐城毎日

社長 大和田與兵衞
發行所 福島縣平市 15丁目12番地
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番
定價1ヶ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

投稿歡迎

平病院實質上の閉鎖
殘留患者共引繼ぎ終る

平病院閉鎖に關しては既に本紙が報じた通り三月三十一日を以て正式に平病院は閉鎖となる點は變りはないが、他の場合と條件が異り入院患者を收容している公共施設であるため、その引繼ぎ期間を一ヶ月間とし新に平病院跡を借受ける、整形外科醫竹林貞吉氏と縣衞生課との間に入院中の殘留患者は竹林氏が責任を負ふ事として圓滿に引ついだ、但し名儀上三月中は竹林氏は縣から借り受けた形をとり平病院の正式閉鎖までは宣傳とか廣告を出すとかをしないといふ、内約により引繼期間として三月一日より平病院の方え竹林氏が移つたものである、去る二月二十七日その閉鎖式が行われたが橋縣衞生部長から家主鈴木タマさんには厚い謝意を表せられ、現在迄の平病院職員は保健所え移つた

平公民館
愈々來る二十日着工
七月末まで完成の豫定

平市の公民館は公會堂前に二十五年度豫算を以つて建築される事に決定し既に建築費豫算二百六十五萬圓を計上され市議會の議決を經て設計其他建築準備が完了したので愈々着工する事に決定し去る十二日請負工事の指名入札を行い目下請負者の審議中であるが公民館の總建坪は九九坪五〇で一部木造二階建（延坪八一坪五〇）一部鐵筋コンクリート三階建（延坪一八坪）で三月二十日に着工し本年七月末日までに竣工の豫定である、この公民館の鐵筋コンクリートの三階建の部分は一階から三階迄全部圖書の保管倉庫で二階建木造部分は階下を事務室圖書閲覽室、宿直室、便所等に充てられ階上は約二十六坪の集會場と六坪のバルコニーを設けられ集會場は約百名を收容し得るもので舞台の裝置もあつて演藝等の催しも出來る事となつて居り平市の公民館として誇り得る設備を有するものとしてこの公民館の完成後の利用價値について非常に期待をかけられている

勞災部會幹事會
平勞基署で開く

平勞働基準監督署では十三日午後一時より同署において平地區産業衞生勞災協會の勞災部會幹事會を開き二十六年度の事業計畫について協議した

町村林務關係者
樹苗關係を協議

石城地方事務所では十六日午前九時より地方事務所において各町村の林務關係者を招き樹苗需給に關する協議會を行ふ

平保健所の新廳舍
愈々着工七月末完成の豫定

平保健所の新廳舍の起工式は十四日午前十時より行う豫定の處準備の都合により定刻から遲れ同日午後一時より市長代理阿部助役、箱崎石城地方事務所長、鈴木石城町村會長、縣土木課長島技師其他來賓多數參列の上市役所南側の建築敷地に於て嚴肅に執行された、新廳舍の總工費豫算は七百五十萬圓（所長官舍共他附屬建物共）で同所には自動車車庫、倉庫等の附屬建物を建設する事となつて居り所長官舍の敷地は他に物色中で此度の建築は本館のみである、敷地の總坪數は四百五十坪、二階建本館建坪二百九十坪であるが此程縣の建築課に於て指名入札の結果工事請負金額四百九十萬圓で磐城土建工業株式會社（社長强口唯七郎氏）に落札したもので七月末日までに完成の豫定である

教育委石城出張所で
レクリエーションの講習

教育委員會石城出張所では十七、十八日の兩日平第二小學校で午前九時半より公民館婦人會、青年會及學校關係の代表者を集め縣社會教育課梅田文衞氏及同近藤ヤエ氏を迎えてレクリエーションの講習會を行ふ、講習會の内容は歌とゲーム、スクエアダンス、其他で受講者はテキスト代金として實費五十圓を要する事となつている

紺屋町の青年會
夜警詰所を建設

紺屋町夜警詰所が荒廢していた實狀に鑑み同町内青年團が主体となつて町内有志から寄附を募り五萬圓の計費で三坪の完備せる詰所を建築十二日竣工式を擧げた

濱通りの天氣
測候所の長期予報

小名濱測候所に於ける濱通り地區の長期天氣豫報は次の通りである

△三月＝氣溫は中旬は高めで下旬はやゝ低溫である、が概して平年並である、雨量は週期的に一時降雨があるが平年並

△四月＝氣溫は上旬は强い高溫が來るので變動がありやゝ高目、雨量は大体平年並である

驛前交番から
自轉車を盜む

伊達郡石戸村石田字中瀨二三番地材木商小手森秀夫(二四)は十四日午前三時頃平驛前警官派出所に侵入して備品の自轉車を竊盜逃走せんとした處驛前の廣告塔附近で山口巡査に逮捕された

心中の懼れある
若い男女の出奔

平市幕の内農業吉田義久さん長男榮君(二〇)同胡麻澤無職神谷安子(二〇)さん二人は十一日午前九時頃結婚が出來なければ天國へ行くと遺書を殘して家出、同人らは昨年八月頃から戀仲になつていたもので十三日家族から平市署に搜査願いを提出したが心中の懼れがあるものと見られ警察當局では各方面に手配し搜査中である

中學生の薩摩守
大津から平まで

茨城縣多賀郡大津町仁田新制中學一年生齋藤信雄(一三)同じ小學六年生岡田竹雄(一二)の二名は十二日常磐線下り午前九時平着列車に大津港から無賃乘車し平驛員の隙を見て市内に脱走したが平驛構内に舞戻つたところを谷口平鐵道公安官に十二日午前九時三十分頃逮捕された、同人らは十二日朝登校せず遊に來たものであるが十二日平發午前十一時十分の列車にて親元に送り返した

民望

平市政革新會から市部選出縣議候補に推薦され出馬を確實視されている、野崎滿藏氏は元の憲政會に屬し元縣議の經歷を有し相當永い政治生活を經た老練の士であり日本三大交通會社の稱ある同屬會社常磐交通の社長で地方に於ける新興財閥の一人であると言はれる人であるから財力、經歷から見ても申分ない候補者の一人であらう、只同氏は前述の通り元の憲政會（後の民政黨）に屬し政友會に屬した鈴木平市長、諸橋久太郎氏關内代議士一派とは政敵の間柄であつたのである終戰後は政治的には全く孤立？していたものである、然るに最近では自由黨系ではあるが反市長派と稱する一派と結び水道問題を始め鈴木市政に對する猛烈な批判を加えつゝある事は周知の通りであつてその政治的節操については云々している向もあるようである

× ×

自由黨から市部選出縣議候補として出馬する事に確定している現縣議馬目武之助氏は周知の如く郡部から自由黨公認候補として出馬する現縣會議長蓮沼龍輔氏とは鈴木市長門下の双壁であり車の兩輪の如き存在である、戰時中の翼贊政治當時鈴木市長が政治的に非常な不遇に陷つた時代にも蓮沼、馬目の兩氏は終始一貫鈴木市長の女房役として共に不遇に甘んじた事は眞に涙ぐましいものがあると傳えられている、蓮沼、馬目兩氏のこの固い政治的節操が高く評價され兩氏をして今日あらしめたものと評せられている、馬目氏の政治的活動には表面的の華かさは見られないが堅實なその眞面目さは敵、味方の双方から深く認められている事は見逃せない事實である

（山野邊生）

十四日晩は風よわく曇りときどき晴 十五日西よりの風日中南よりの風晴たり曇つたりの天氣 十六日西よりの風天氣の見込 海上はおだやかでせう

明るい氣分の良い酒場
酒場 銀春
平文化裏通り
美人女給さん求む

平市有權者名簿
二二、六七八人の有權者を一册に集錄し…發行致しました…激戰を豫想される今回の市議選に御利用下さい…限定版ですからお早く願います
大和田印刷所調製
仲町 電話七二九番

大衆食堂
支那そば なべ焼うどん ワンタン 出前迅速
みかさ
平紺屋町 平文化隣
靜かな數寄屋風御座敷で一杯いかが……
電四六五番

優秀カメラと
現象、密着、引伸は
最高技術と親切な……
飯田カメラ店へ
紺屋町 聚樂館前

皆樣の魚店
磐城名産 鰹節 鹽辛
丸市屋
平市四丁目
電話二一三番

氣分が良くて安いと
定評ある燕樂
暖かい明るい御座敷を！
御宴會、御商談、御會合、御利用下さい
御宴會、御會合は御予算でどんな御相談にも應じます、（御酒持込歡迎）
平文化裏通り
御料理 仕出し
燕樂
電1,273
女中さん至急入用年齡二五、六歲迄

平市の名士を訪ねて

地味な持味ぢ　熊谷保高氏

平市民生委員、縣兒童福祉審議會委員としての熊谷保高氏の人生航路は平第二小學校の教員生活から始まる當時女生徒のみをあつかつていた揚土臺の校舍に營々孜々として勤める事十三年靜かに世の移り變りを見つめていた氏は何を思いついたか飜然身をひるがえして戰爭眞最中に教育界を辭し緣戚筋の市内山田文一商店の後見役として或は家業の質屋業に專心し自ら緣の下の力持ちになる事を厭はなかつた、思ふに教育界の地味な雰圍氣が自づと現在の様な地味な人間としてのカラーを育てあげたのであらうか、だから氏は脚光を浴びて舞臺を踏む様な人柄ではなく靜よく事に處す力の人である事は言ふをまたない、知る人ぞ知るこれが僕の信念ですから僕を知る人は必ず僕を理解してくれるでしようと軟らかに記者の質問を逃げる、廣い額つぶらな瞳靜かに語る氏の唇にはともすると燃ゆる様な情熱が閃く、氏の政治的な略歴は平市選出の現縣議馬目武之助氏の選擧事務長として前縣議戰に活躍した事はまだ記憶に殘している人も少くはあるまい、氏は決して華かではないが町内から推薦された趣旨にそい着實な仕事をして行きたいと思います、また教育關係の設備、小さな子供達えの溫い愛の手の實際的な方法など擧げれば數えきれませんが人目につかないで大切な事柄がまだまだあると思います、と語る氏の言葉、こゝにもまた氏の持味がうかがわれる氏は四十八才大和田現副知事とは磐中同期である

好間村で診療所新設

村民から非常な期待

好間村では昨年十月村議會に於て第三小學校新築案と同時に總經費三百萬圓で診療所新設案をも決議し、鈴木村長建設委員長として建設に乘出したが、敷地問題で着工が遲れていたが最近漸く敷地問題も解決し去る六日起工式を行い工事に着手した、建設地は好間村北好間地内で敷地總坪數百三坪診療所建物は一部二階建で總建坪數八〇坪、指名入札の結果二百六萬で、豊工業に落札し同工業の手に依つて着工したものである、竣工は四月中旬の豫定である同村には診療所が無かつたので從來からその必要を痛感されて居り廿四年一月頃から村議會に於て建設案が論議されて居たもので昨年一月同村稻下の古家を買收し、縣當局に申請したが診療所としては衞生的見地からも環境の点からも不適當と認められ不許可となつたので遂に新築する事に決定したもので、この診療所の新設は村民から非常な期待をかけられている

小名濱 舊日立

製作所の敷地

買收交渉一應物別れ

小名濱町字林の上舊日立製作所小名濱工場敷地二萬三千坪は最後的處分敷地として町が拂下げを受ける計畫で過般上京した水野町長外町議等の交渉に依り本社常務取締役湯淺氏との會談によつて坪當り二百三十圓と日立側の提案に對し、町側は坪當り二百圓迄なら買收し得るとの問題について十二日正午、日立本社より湯淺常務並に城書記の來町を機會に町役場町長室に會合して、折衝を重ねたが結局賣方、買方、の意見の一致を欠き、最後的價格を貳百五十圓迄なれば速刻決定出來るとの湯淺氏の説に對し遂に妥結點なく後日の會見を約し湯淺氏は午後三時發列車で歸京した委員は一應町會に諮り町としての態度決定した後上京して再交渉に當る事となつた

船員の素質向上

江名で教育講座

船員の素質の向上を計るため東北海運局小名濱支局では十五日午後三時から江名町漁業協同組合會議で船員教育講座を開く、講座終了後は映畫會を催す事になつた、講師は東北大學教授大津曲氏、東北海運局蓮船員部長

磐城共立病院を覗く

（完）

院長先生に御挨拶して病院内を一巡する、外科室には科長の佐藤先生が「やあいらつしやい」と顯微鏡から顔をあげられた、明朗一色スラリとした美貌の中年紳士、院長先生の名女房役とか、鷄を飼育されることが御趣味で毎日餌をやることを樂しそうになさつているとは蔭の聲「炭礦病院の闘係上患者は多くそちらの方え行く様ですあまり變りはありませんが」とユーモアたつぷりの名コメデイ役者ぶり、外科室から産室え更に病棟え廻ると先刻の畠山院長が自ら聽診器をとつて廻診中、病室の某室に胸を病む十七、八才のS子さん靜かに眠る枕元の壁に「心淸きもの幸なり、汝等天國を見る云々」クリスチヤンか？　黄の福壽草が窓邊にかゞやいていた、食堂え足を入れると好々爺の料理番國井さん「魚、肉、油もの週に二回づゝ」等々元氣一杯に張切つている、お晝は全部一緒とか日曜なので二三の當番の看護婦さんが見えるだけ「一つ味を見て下さい榮養萬點ですから」國井ぢいさんの料理で記者は思わぬ御馳走にあづかつた何と鹽ざけの鹽のきいていることよ正に榮養萬点！國井ぢいさんにお禮をのべて看護婦さん方の寮え行つて見る、お醫者さんにつゞいて看護婦さんの働きが病人にとつては命の綱「毎日交代で夜も萬一の場合を考慮して勤務します」とKさんの言葉、先生方も一人づゝ宿直して入院患者えの萬全を期す、白衣の天使も今日は日曜なので夫々町え或は自宅え、廣い寮の各部屋には磨かれた鏡臺が主人の天使のお留守番、ふと耳をすますと哀調を帯びたソプラノが靜かに果しないノスタルジアの響を含んで流れて來る、「白い花のさく頃」であつた、お下げ髪ならぬ白衣の天使が窓邊によつて無心に流れる白い雲を見つめつつ

白い花がさいてた
故郷の遠い夢の日
さよならと言つたら……

黄昏せまる頃記者もまた、さよならを告げて病院を後にした　終り（柳風子）

小名濱便り

（三）

土木疑獄は部長の暗劍殺と云ふ可きであらうと考いさせられた火力發電所の誘致問題はマタ聞いて居ないが恐らくは關東方面では猪苗代電源を獲得し、更に只見川の電源も獲得しようとして居るので、其代償に關東が火力發電所を建設せんとする魂膽ではないかと思ふと火力發電所の誘致は部長の腹では氣乗りせない感想である、模様だが部長の辭職後は東北電力株式會社の新會社に入社の約束が成立してあると云ふのを聞いて或は却つて便宜があるかも知れぬと思つた、部長室を辭して、大竹知事室に至り面會した、主として製氷、冷凍、冷藏工場建設費融資問題は、水産課長をして上京せしめようと云ふ上に、縣會の答辯は課長でなくとも大丈夫で、上京の用件が重要だと課長を呼んで上京を命じた、火力發電所問題は森副總裁に宛てた名刺を自書して町長に渡して呉れた、白河東北配電會社長にも宛てに名刺も書いて呉れた、大竹知事の好意は何時もながら敬服する、そして其上鞭韃して呉れる誠意には感泣せざるを得ない、陳情の目的は八分通り貫徹したので、副知事、勞働部民生部長、庶務部長に面會するの機會を得た

生徒募集
本科……………50名
研究科…………若干名
願書受付中・內容規則書進呈
◀學生定期割引の便あり▶
公認　三浦洋裁學院
平市仲町1　電907番

貸席
和風茶房と家族風呂
♨志乃婦
平市仲町21　電話280番

電話讓り
受けたし
姓名在社2

本場＝自慢
牛豚肉
配達迅速
第一線屋
第二線屋
第一電話五三九番
第二電話七九四番

埋立
專用線あり迅速に致します
多少に拘らず御相談に應じます
から御用命下さい
平市十五丁目
丸茂土建工業所
社長　鹽谷茂雄
電四八〇・一〇六一番

申込店 大町 ミツノ米店
平市下平窪
川角牛乳店

大衆食堂
あつい鍋燒うどん
特製支那そば
さかえ
出前迅速
平驛前東角
電話九八八番

うまい!!
安い!!!
好評のシュウマイ
中華そば
和食＝洋食
三丁目
平会館
電六二四